

支援の輪を広げよう ～クラブパレット震災支援ボランティアを通して～

NPO法人クラブパレットクラブマネジャー 西村貴之

1. 皆で集まればアクションを起こせる

東日本大震災以後、様々な支援活動が広がっています。自分自身も何かできることはないかと考えながらも、募金活動への参加程度にとどまっていた。そんな折、クラブのボランティアスタッフでもあり、石川県の災害ボランティアコーディネーターでもある松井さんから、「災害支援ボランティアとして、福島県の南相馬市原町区に行ってきました。」という報告と「パレットさんでボランティアバスを出しませんか。」というご提案をいただきました。その時、「原町区」というフレーズに反応しました。クラブの赤井理事長とも相談したところ、原町区はNPO法人はらまちクラブさんが活動する地域であることに思いが至り、同じ総合型クラブが活動する地域という縁を感じ、今回のボランティアを実施することに決定しました。

参加者の募集はクラブの会員やスタッフに限らず、新聞報道、折込みチラシ、地元ケーブルテレビを通して地域の方々に声かけを行いました。「何かしたいと思っていたけれど、1人でアクションを起こすことができなかった。」という方々も多く、総勢 23 名が参加し、マイクロバス 1 台とワゴン車 1 台で福島へ行くことになりました。

2. 現地に行かなければわからないもの

6月17日(金)22:30に石川県を出発し、18日(土)7:00ごろ南相馬市に到着しました。海岸近くを視察しましたが、その様子は参加者の想像をこえるものでした。現地に行かなくては決してわからないものがありました。現地ボランティアセンターに受入を依頼し、18日(土)、19日(土)の2日間にわたって作業を行いました。初日は生活区域の側溝の泥出しやガレキの撤去を行いました。

現地の方とお話することもできましたが、高台にあるお宅以外は全て流されてしまい、その方もまだ親戚の方で行方不明の方もいらっしゃるとのことでした。にもかかわらず訪れた私達をととても親切に受け入れてくださり、「皆さんに元気をもらっています。」との言葉をもらいました。



3. 「石川と福島をつなぐ」ヒマワリの種をまく

2日目は北海道地区にて、塩害と放射線被害のために稲作規制となった田んぼに現地の方々と一緒にヒマワリの種をまきました。地元区長さんは「地区のみんなが集まるのは震災以来で初めてかもしれない。」とのことでした。半日ほどかけて3枚の田んぼにヒマワリの種をまきました。作業途中にはボランティア参加者と現地の方々との交流もあり、「石川と福島をつなぐ種となることを願っています。ぜひまた花の咲くころに再会できたらと思います。」との区長さんからのコメントで作業は終了しました。

初日の作業終了後にはボランティア参加者で活動のふりかえりを行いました。バックグラウンドも年齢も性別もバラバラでしたが、視察や作業での協働・共感を通じて新しいつながりも生まれました。また、それぞれが石川へ戻った後に何ができるのかということについても話をすることができました。

その後、持ち帰ったヒマワリの種をクラブハウスや近くの幼稚園、そして参加者の自宅などに植え、現

地のことを思い出したり、参加者がそれぞれに今回の活動の報告を行ったりと、現地で見たものや感じたことを遠く石川でも伝え広げています。

かほく市内の幼稚園では園児が現地に向けて、寄せ書きとうちわとカレンダーを送りました。また、クラブでも現地の農家のご協力で安全な地元産のスイカを30個南相馬に送りました。ヒマワリの種をまいた北海道地区の区長さんとは今も手紙のやりとりなどで連絡を取り合い、現地の様子をお知らせいただいています。8月6日(土)にはクラブから数名が現地へ再度訪問させていただく予定にしています。



4. 多くの人が協力して、少しずつでも続けていくことが大切

今回の震災支援ボランティアをクラブで実施して感じたことがいくつかあります。最初に現地を訪れた時、「本当に同じ日本なのか、再びここに人が住むことができるようになるのか。」と考え胸が締め付けられる思いでした。しかしながら、現地の方々の強く、前向きに復興に向けて努力されている姿勢にふれるうちに自分の考えは変わっていきました。現地の方々がこんなに一生懸命なのに自分達は何をしているんだと。逆に元気と勇気を与えてもらったように感じました。他の参加者からも同様の意見を聞きました。

たった2日間の作業で何か大きなことができたとは全く思いません。ただ、今回の活動がきっかけとなり、次なる支援の輪が広がっていけばと思っていますし、少しずつでも何か続けていくことが大切なんだと思います。支援をする側も受ける側も決して1人ではなく、多くの人が協力することが大切なんだということを本当に強く感じました。これは総合型クラブの運営の理念と通ずるところがあると思います。

この記事を読んでくださってありがとうございます。何か感じたことがあればそれをみなさんのアクションにつなげていただければ幸いです。貴重な機会をいただき、関係各位に感謝申し上げます。



▼NPO 法人クラブパレット HP

<http://po4.nsk.ne.jp/~club-lets/>

▼クラブマネージャー西村のブログ

<http://kanazawa.areablog.jp/clubpallet>